

ひまわり



第14回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 箱崎真理子 様

- 2 ▶ 5 祝開設20周年
みなみ福寿園 / 武豊福寿園
- 6 連載vol.27 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 7 海外研修報告 ● [フィリピン]
- 8 Happy Halloween
- 9 ▶ 12 各施設の出来事
- 13 ▶ 15 福寿園ニュース
家族会だより
- 16 連載 ● New ひまわりギャラリー
連載 ● ボランティアさんいつも
ありがとうございます
連載 ● 外国人介護福祉士候補者
リレーインタビュー

136号

平成29年11月10日

祝開設20周年

みなみ福寿園

この度、みなみ福寿園は開設20周年を迎えることができました。これも偏に長年に渡りご指導ご支援をいただいた多くの皆様のお蔭と感謝申し上げます。

みなみ福寿園は、平成9年に豊田市3番目の特養として、地域の高齢者福祉の総合拠点として期待されて開設しました。平成12年4月には、措置

制度から介護保険制度への移行が実施され、福祉、介護現場では大きな転換期となりました。この転換によって、サービス内容を踏まえ、ご利用者が選択する時代となり、選ばれる事業所づくりを目指し、より良いサービス提供に向けて、努力を積み重ねて参りました。より良いサービスを提供する上では、職員の採用、育成が重要であり、日々、内外の研修等を実施している状況です。また、人材のグローバル化が進み、平成24年1月、EPA（経済連携協定）による介護福祉士候補生第3期生を迎

みなみ福寿園20年のあゆみ

平成9年4月	竣工披露式挙行 特別養護老人ホーム入所者受入れ開始 デイサービスセンター開始 在宅介護支援センター開始
// 6月	ショートステイセンター開始
平成10年4月	ホームヘルプサービス開始
平成11年10月	とよた景観まちづくり賞受賞
平成12年4月	ケアプランセンター開始
平成13年5月	訪問入浴サービスセンター開始
平成15年3月	デイサービスセンターリニューアル工事
平成17年3月	愛・地球博に参加
11月	みなみフェスタにて水前寺清子出演
平成18年1月	ISO9001・14001認証取得
平成20年9月	敬老祝賀会に豊田市長来園
10月	膜ろ過装置導入、地下水の飲用化
12月	省エネ機器導入
	コージエネルギーシステム稼働
平成21年5月	日本財団福祉車両寄贈
平成22年10月	太陽光発電システム導入
平成24年1月	EPA介護福祉士候補生第3期生受入れ開始
平成26年6月	配食サービス開始
平成28年4月	EPA介護福祉士候補生第3期生 介護福祉士合格（豊田市内第1号）
平成28年8月	職員用マンションソレイユ完成
平成28年11月	インドネシア バンドン市視察受入れ
平成29年5月	施設大規模リニューアル工事

え、豊田市における外国人介護従事者受入れ第1号となり、現在では、7名の候補生が仕事をしながら介護福祉士受験に向け勉強をしています。この3月で20周年を迎え、これからもご利用者が安心して快適に過ごしていただくため、今年5月から8月にかけて、施設の大規模リニューアル工事を行いました。特養食堂、デイサービスの屋根、外壁の補修、塗装、内装において、各居室、廊下の壁紙貼り替え等を行い、建物維持・管理、施設内の明るさ、清潔感が増

しました。

今後もご利用者、ご家族をはじめ、みなみ福寿園に来られた方、関わる地域の方々が幸せと感じていただけるように、サービスの質の向上を目指していきたいと思っております。



20周年記念みなみフェスタ式典



20周年記念みなみフェスタ開催

10月15日に、みなみフェスタが開催されました。今回のテーマは、20周年を記念し、「未来への新たな一歩」20周年感謝の気持ちを込めた「〜」としました。20周年企画として、20年前に流行った物（ハイパーヨーヨー、ミニ四駆等）の展示や、地域の方々に未来への夢や希望を語っていただいたビデオを上映しました。その他にも、のど自慢大会や食品バザー、餅投げを行い、大盛況となりました。20周年記念式典では、みなみ福寿園がお世話になった方々への感謝状の贈呈や、福祉の絵手紙の表彰を行いました。最後に演歌歌手 川中美幸さんの歌謡ショーでは、新曲やヒット曲などを歌われ、



入居者、ご家族、地域の皆さんと職員も一緒に、全体で盛り上がる事ができました。多くの方から、「また次も楽しみにしてね。」と言われ、本当に最後の最後まで楽しんでいただけた一日となりました。今後も感謝の気持ちを胸に、頑張っていきます。

最後に最後まで楽しんでいただけた一日となりました。今後も感謝の気持ちを胸に、頑張っていきます。

最後に最後まで楽しんでいただけた一日となりました。今後も感謝の気持ちを胸に、頑張っていきます。



みなみ福寿園開設20周年おめでとうございます。いつも気の合う友達と一緒に過ごすことができ、毎日楽しいです。これからもよろしくお願ひします。



入居者 三浦 恵美 さん



あらたな一歩、20年を迎えて

武豊福寿園

武豊福寿園とケアハウス武豊は地域の期待を一手に受け、知多地区の先陣を切って平成8年2月に同時に着工し、平成9年4月に建物が完成し、開所いたしました。

武豊福寿園は武豊町の最初の特養としてオープンし、併設施設として、

ショートステイ、デイサービスセンター、在宅介護支援センター等の運営を実施し、武豊町の高齢者の皆様のニーズに応えてまいりました。

平成12年の介護保険制度が始まってからは、ケアプランやヘルパー等の在宅サービスをさらに事業展開いたしました。



武豊福寿園での思い出

武豊福寿園開設20年おめでとうございます。

私は平成12年3月に入所しました。この17年間を振り返って一番心に残っていることは、中部国際空港がオープンした時に連れて行ってもらい、エビフライをたくさん食べたことです。

これからも福寿園の美味しいご飯で、私をますます大きくさせてくださいね(笑)



入居者 鳥居 秋枝 さん

経過は単なる通過点と捉え、30年後、40年後も地域の皆様方に愛され、発展するような施設運営に努めてまいります。

行事にも取り組み、地域に根ざした施設となるよう、さまざまな活動に取り組ん

でまいりました。このような背景の中、当施設も今年4月で20年が経過しましたが、これまでの間、健全な経営が長期に渡

り図れましたのも、ひとえに地域の皆様をはじめ、ご利用者やご家族のサポートに支えられてこそ実現したものと解し、深く感謝申し上げます。今後、これまでの20年の

武豊福寿園20年のあゆみ

- 平成9年4月 竣工披露式挙行
特別養護老人ホーム入所者受入れ開始
軽費老人ホーム入所者受入れ開始
在宅介護支援センター開始
デイサービスセンターB・E型開始
- 7月 第1回家族会総会 (以降毎年実施)
- 8月 第1回納涼大会 (//)
- 9月 第1回敬老祝賀会 (//)
- 平成10年10月 第1回文化祭
- 12月 中央競馬主社会福祉財団よりハイエースウェルキャブ受配
- 平成11年4月 武豊町デイサービスセンター砂川開始
武豊町在宅介護支援センター開所
- 5月 郵政省 (お年玉付年賀はがき) ハイエースワゴンキャブ受配
- 平成12年3月 日本財団移動入浴車受配
- 4月 ケアプランセンター、ヘルパーステーション、訪問入浴サービス開始
- 平成17年1月 特養グループケア開始
- 平成18年1月 ISO9001・14001 認証取得
- 平成19年6月 武豊福寿園十周年を祝う会
- 平成20年4月 訪問入浴サービス廃止
- 平成21年8月 障害福祉サービス事業デイサービス開始
- 平成24年1月 EPA介護福祉士候補生第3期生受入れ開始
- 平成25年4月 託児所開始

20周年記念武豊福寿園文化祭開催

10月22日に文化祭が開催されました。台風接近のため開催が危ぶまれましたが、施設内に全て舞台を移し、開催に希望を持って準備を行ったことが良かったのか、無事に行うことができました。悪天候にも関わらず、約300名の方が来場され、武豊福寿園開設20周年を記念し、盛大に行われました。

武典では、武豊福寿園がお世話になった方への感謝状の贈呈を行いました。また、武豊町内4小学校に募集を行った、福寿園後援会主催による「福祉の心」絵手紙の優秀作品表彰式も行われました。今年は1,000点を越える作品の応募をいただき、施設内で展示された作品は、訪れた人の足を止めていました。

地域の事業所による出店や飲食バザーも大盛況で、「水戸黄門」の飛猿でおなじみの野村将希さんの歌謡ショーでは、「一度だけなら」や「水戸黄門」の主題歌などを熱唱していただき、会場は大いに盛り上がりました。



餅投げ

20周年記念 武豊福寿園



あいさつする理事長

20周年記念 武豊福寿園 文化祭



感謝状贈呈

20周年記念 武豊福寿園 文化祭



「福祉の心」絵手紙表彰式



野村将希さん歌謡ショー



絵手紙受賞作品展示



入居者作品展示

連載 ②7

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

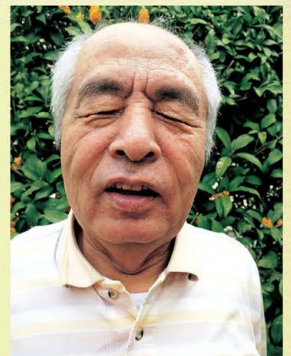
貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



恩師との記念写真(上段左端が克招さん)

私は幼い頃から右目が見えず、小学校2年生の時に左目を怪我して全盲になりました。小学校3年生から豊橋盲学校に通い、マッサージ師の勉強のため15歳で理療科、18歳で専攻科に進学し学びました。学生の頃、印刷を依頼したことで知り合いになった伊藤宝氏が、自身の体験から「豊橋ともしび会」を昭和35年に創立し、翌年から点字カレンダーを作成・発行しました。その活動発足の時

に誘いがあり、私も参加することになりました。当初の参加者の中で全盲は私一人も私だけでした。点字印刷機は今のようにはソコンですぐに印刷できず、私の頃は足踏みミシンのような形で、ボタンで6点文字(点字)を作り、一文字ずつ亜鉛版に足踏み式で打刻するものでした。この作業で亜鉛版で原版を作り、二つ折りにした原版に用紙を挟み、ローラーで回すと点字が打ち出されます。みんなが集まってカレンダーを作ることはもちろん、機械が大好きだった私は点字印刷の作業がとても楽しく、この活動に没頭しました。昭和39年に卒業し、マッサージ師として独立して昭和40年に静岡県焼津市に移り住むまで、活動に参加し続けました。縁あつて養護盲福寿園で暮らすようになり、今も「豊橋ともしび会」で、点字カレンダーを作成発行していることを知り、とても驚きました。そのカレンダーを手にした時、盲人のために続けていくくれて本当にありがたいと感謝しました。



鈴木 克招
(養護盲福寿園)

プロフィール

生年月日：昭和18年7月22日
出身：愛知県豊橋市
性格：温厚・ユーモア好き
趣味：詩吟・カラオケ

昭和56年に豊橋市へ戻り生活を始めた頃、豊橋盲学校時代の恩師である森下先生から、豊橋盲学校同窓会の事務業務の依頼があり、引き受けました。豊橋盲学校は昭和56年に残念ながら閉校となりましたが、同窓会は平成12年まで続き、私は閉会まで事務を務めました。毎年同窓会の連絡や、年一回の名簿機関紙の作成をしました。資料などがなかなか集まらず困ることも多かったですが、楽しんで作成作業をしていました。また、同窓生である妻が、封筒に入れたり、表

書きの作業を手伝ってくれ、とてもありがたく思いました。同時期に豊橋盲学校の先輩の誘いと勧めで、豊橋盲人福祉協会の活動にも参加するようになり、ここでも事務を任せられました。1980年代に音声ソコンが出始めた頃、休日にソコン教室に通っていち早く習得し、点字プリンターを購入し、資料作成などをしました。また、豊橋市からの依頼で、歩道の点字ブロック設置の際に、盲人側からのアドバイスに立ち会ったこともありました。頼まれると断れず、平成15年に名古屋に移るまで務めていました。



後年嗜むようになった詩吟と、点字は施設内のクラブ活動で今も続けています。長年苦楽を共にし、支えてくれた妻と、穏やかに暮らしていきたいと思えます。

第9回

福寿園職員海外研修旅行



今年度で9回目となる海外研修旅行は4年前にも訪れたフィリピンへ。11月1日より介護職種における技能実習制度がスタートすることもあり、特養以外の職員も含め総勢15名で、9月30日から10月5日までの6日間で行ってきました。2年前からミンダナオ国際大学にて開校している「福寿園日本語クラス」3期生への激励と交流、そして多くのフィリピン人介護福祉士候補生の母国の文化、現況を知ることが研修の目的として日本を立ちました。

初日はマニラにある介護士を養成する専門学校を訪れました。現在300

名が介護コースを受講しており、そのほとんどが海外での就労を希望。海外で働く理由や日本に対する印象など、学生たちと意見交換を行いました。二日目にマニラからダバオへ移動し、翌日にミンダナオ国際大学へ。校内見学と概要説明を受けたのち、日本語クラス研修生との交流会では、日本語による自己紹介ゲームや移乗介助の実技などを共に行い、移乗介助の説明では北欧式トランスファーについての質問もあり、研修生の前向きな学習意欲が伝わってきました。夜の夕食会では1期生、2期生も交えた激励会となり、将来、私たちの仲間になる研修生とさらに懇親を深めることができました。

今回の研修旅行ではその他にも介護施設や名所旧跡などを訪れました。一歩現地に足を踏み入れると、フィリピンという国が抱える問題にいくつも遭遇しましたが、現地の人々は非常に明るく、外国から来た私たちを笑顔で温かく迎え入れてくれました。今後様々な形態で外国人介護士の仲間が増えていきますが、6日間で学んだフィリピンの文化や現況を忘れることなく、大家族の一員として、やさしく温かくお迎えしようという気持ちが強くなった良い海外研修旅行となりました。



HAPPY HALLOWEEN

トリック
オア
トリート

近年、日本でもイベントや仮装をして盛り上がりを見せている「ハロウィン」。福寿園でも、託児所の子供たちからお年寄りの皆さんまで、それぞれ好きな仮装をして、ハロウィンを楽しんでみました!



私たちは
かわいい
魔女!



お菓子を
くれなきゃ
いたずらすぞ



素晴らしい
ハロウィンで
ありますように!

ハッピー
ハロウィン



オバケなんて
怖くないぞ!

お菓子
たくさん
あるよ♡

施設 の 出来事

ケアハウスパシフィック

総合防災訓練

年に1度の総合防災訓練。今回は『夜間に1階奥の居室で火災が起きた』という想定で、訓練を行いました。非常呼集連絡を受けて施設へ駆けつけた(想定)職員が到着したのは、警報が鳴ってから10分後。しかしその頃には、4階居室に入居されている皆さんも、1階事務所玄関前のロビーに避難できており、その行動の速さには驚かされました。最後に行った消火器訓練も、職員よりも上手に消火器を扱う男性入居者さんもいたほどです。

何も起こらないのが一番ですが、もしものために備え、職員も入居者の皆さんも、常に意識していきたいと思えます。



養護盲福寿園

声の「ひまわり」定期便

隔月に福寿園機関紙「ひまわり」が発行された後、入所者の皆さんに「ひまわり朗読会」と題し、機関紙の記事を読み上げています。毎号、当該の記事を始め、他施設の出来事やその他の記事などを読み、掲載写真の説明をする職員の声に入所者の方々は聞き入るように耳を



傾けます。一つ一つの記事に対し皆さんで感想を言い合い、時には思い出話などに花が咲き、楽しく談話する機会ともなっています。9月20日に行われた135号の朗読会では、敬老祝いの長寿番付に、日々の生活を共にしている養護盲福寿園の方が登場したことに皆さん大いに喜ばれました。また、他施設のご長寿の入居者の方々へのお祝いの声もあり、和やかな朗読会となりました。

田原ゆの里

体操クラブ

月に一度体操クラブを行っています。楽しみにされている入居者も多く、体操クラブがあることを伝えると、「今日はクラブがあるから楽しみです。」と笑顔が見られます。クラブではプロジェクターを使ってインスタクターの映像を見ながら、昔懐かしい音楽に合わせて体操を行っています。初めの頃は

なかなか身体を動かすことができませんでしたが、何度も行うことで身体が覚え、また、隣の入居者が体操を行っているのを見て、「あの人もやっているから。」とお互いが刺激合いながら体操を行っています。体操クラブへの参加者同士会話も弾み、「元氣そうだよかった。身体を動かして長生きしようね。」と交流の場ともなっています。



渋かったいいバンドマン

毎月1回バンド演奏にYYブラザーズの皆さんが来園されます。一見すると尺八のように見える「ウインドシンセサイザー」という楽器にアンプをつなぎ、いろいろな音やメロディーを、お腹に響くほどの大音量で表現されます。不思議な音色に誘われ、利用者さんはもちろん、廊下を歩いている職員も演奏を楽しんでいます。楽曲は、昔懐かしい歌謡曲や唱歌を中心に、大ヒット韓国ドラマのメインテーマ曲などもおりませ、ムードたっぷりの内容で、穏やかに耳を傾けてはリズムをとって楽しんで

ぶどう狩り

みなみ福寿園ショートステイ

ショートステイご利用者の皆さん

と一緒に、岡崎市のぶどう園へぶどう狩りに行って来ました。天候にも恵まれ、青空の下で真ん丸と実ったぶどうを皆で収穫しました。採りたてのぶどうは果肉がずっしりと詰まっており、「甘くて美味しい」と大絶賛でした。

帰りのバスでは、「ぶど



う狩りは少々だった。ありがとう。楽しかったよ」と言っていただけでした。皆さんに喜んでいただき、職員も嬉しく感じました。

れています。渋くてかっこいいYYブラザーズの皆さんの演奏を、ぜひ一度聴きにお越しください。

花の里 輪投げ大会!

9月28日に、愛知県認知症グループホーム連絡協議会主催の第5回輪投げ大会が開催されました。花の里は今年が初の参加で、皆さんお揃いのジャージと帽子を着用し、挑みました。チームの声援を背に、高得点を狙おうと、皆さん真剣な眼差し。白熱したトーナメント試合の結果、なんと、29チーム中2位という素晴らしい結果となり、皆さん満足気な様子でした。



東海福寿園

沖縄音楽ライブ

9月30日、音楽サークルべんてんさんによる沖縄音楽ライブが行われました。沖縄の民謡から皆がよく知っている歌謡曲まで、幅広くたくさんさんの曲を演奏してくださいました。皆さん、三線の音色や素敵な歌声に聞き入ったり、一緒に歌ったりして、ライブを楽しまれました。特養入居者のご家族(娘さん)によるキーボード演奏もあり、入居者であるご本人も、とても嬉しそうでした。素敵な時間をありがとうございました。

豊田福寿園

井郷地区ふれあい祭り



10月22日、地元・井郷交流館にて、地区ふれあい祭りが開催されました。今年で3年目の参加で、豊田福寿園からは「玉せん」を出店。地域から依頼を受けた300食は開始早々一時間で完売でした。

多くの方々から、「美味しいね、来年もこれからも、ずっと来てくださいね。楽しみなんですよ」等、嬉しいお言葉をいただきました。

台風21号接近中ではありませんでしたが、こどもから大人までひとつに協力しあい、地元地域が笑顔に包まれた一日を、私たちも一緒に過ごせたことに嬉しく思いました。

ケアハウスきぬうら

交通立ち当番

近所の交差点で、朝早くから交通安全のための啓蒙活動を行ってきました。「スピードを落とすとして!」「運転中の携帯電話はダメ!」等の立て札で、通勤中の運転手に呼びかけます。時には横を通る学生さんに、「おはよう!」と声をかけると、恥ずかしそうにしながらも「おはよう!」と返事を返してくれます。入居者が地域の中で活躍している「コマ」でした。



田原福寿園

106歳のバースデー

9月に誕生日を迎える皆さんの、合同の誕生日会を開催しました。福寿園最高齢となる山田とよさんも106歳の長寿を迎えられ、会場は大きなお祝いの拍手につつまれました。顔より大きなバースデープリンを頼張りながら、和やかなお祝いの会となりました。

皆さん心よりおめでとうございませう。



ひまわり邸

ヨガ部発足

ひまわり邸では豊田地区の職員に呼びかけ、週に一度、自分磨きとしてヨガ部を発足しました。美容、ダイエット、リフレッシュ、腰痛予防：いろいろな目的を持って、たくさんの職員が参加してくれています。癒しの音楽が流れる中、ゆっくりと呼吸をし、様々なポーズで体幹を鍛え、体を伸ばしていきます。体が硬い人でも大丈夫。インストラクターの先生がやさしく指導してくださいませ。終わった後は、体がポカポカ、脳もスッキリ!気持ちが良いです。ひまわり邸と一緒にリフレッシュしませんか。



渥美福寿園
ハロウィン

10月31日はハロウィンですね。渥美福寿園にも玄関にジャックオーランタンが飾ってあります。かぼちゃ三個を使って、デイサービスの利用者の皆さんで作成しました。昨年も作りましたが、今年は人の顔よりも大きなかぼちゃだったので、くりぬく時も顔が入ってしまいそうでした(笑)。中身をくりぬいた後は、三日間ほど乾燥させて完成です。飾りつけをしてかわいく仕上がりました。職員、入居者さん共に前を通ると「すごいね」と足を止めていました。



ひまわりの街
第一回運営推進会議

去る9月9日に今年度最初の認知症デイサービスセンター運営推進会議が開催されました。ご利用者の家族や地元本町の区長様、民生委員様を迎え、和やかな雰囲気の中、デイサービスでの活動報告や認知症についての勉強会、また、日頃のご家族様のお困りごとについて活発な意見交換が行われました。これからこのような機会を通じて、地域の方やご家族様とのつながりを大切にしていきたいと思えます。



昭和の里・あい福の里
合同バーベキュー

9月2日晴天！あい福の里と昭和の里合同で、就労支援事業所の合同バーベキューを行いました。初の合同親睦会は総勢30名が集まり、休暇村伊良湖にて開催されました。あい福の里の新鮮とれたて椎茸や、さつま芋なども登場し、美味しくいただきました。夕方にはみんなで花火も行い、楽しい交流もでき、大満足の日となりました。



くすのきの里
國延昶一さん個展会



10月5日、社会福祉士実習生の企画で、画家として活躍されていた國延昶一さんの個展会を開きました。人物画や風景画など、多彩な色使いで描かれた油絵と、ご家族にお持ちいただいたたくさんのデッサンの写真を施設内に展示し、観賞に訪れた方へ、ご家族と共に作品紹介等を行いました。また、題目は、この日のために入居者の久野美奈子さんが書いてくださいました。施設外から訪れる方もみえ、鑑賞に来た職員や入居者から、「素晴らしい作品に感動しました」「こういう機会がまたあるといいね」という声も聞かれ、あたたかな個展会となりました。

五連覇達成!!

福寿園サンフラワーズ優勝!



法人の支援を受け、私たち福寿園サンフラワーズは大会五連覇を無事に達成することができました。法人内の関係施設の方々には、野球部の活動にご理解いただき、たく

さんの声援とご協力をいただきました。本当に感謝しています。選手はそれぞれの長所を活かし、一投一打に集中して頑張ってくれました。試合に出る選手も出

愛知県老人福祉施設連絡協議会主催の第22回愛知県老人福祉施設職員野球大会が行われ、福寿園野球サークル「福寿園サンフラワーズ」が優勝し、大会史上初となる五連覇を達成しました。試合は春日井市民球場で行われ、全21チームが参加。決勝までの全5試合をすべて6点以上の差をつけるという、他を寄せ付けない圧倒的な強さで勝利し、みごと栄冠を手に入れました。また、今大会の優秀選手には、原野健太郎さん（田原福寿園）と佐宗和也さん（渥美福寿園）の2名が選ばれました。

ない選手も、ベテランも新人も互いに声を掛け、助け合い、一丸となって戦った『チームワークの勝利』だと思っています。五連覇を達成した選手を褒めてやってください。次回も応援よろしくお願います。今回は誠にありがとうございます。浅野修良（監督・浅野修良）

愛知県屈指の総合力

福寿園サンフラワーズは会長、部長をはじめ、多くの現施設長も在籍した伝統ある野球サークルです。今回の大会では、浅野監督の堅実な好采配がチームを優勝、そして五連覇へと導きました。メンバーには元高校球児がずらりと名を連ね、選手層が厚く、総合力の高さは屈指だと思えます。十数年変わらぬメンバーが多く在籍するため、随所に衰えも見られませんが、若手の活力が高く、まとまりのあるチームになっていきます。エース佐宗はとにかく勢いが武器。年々安定感を増し、チームの核となってくれています。野手陣は中堅手の小栗、遊撃手の太田充とセンターラ



（主将・加藤恭一）

- | | | | | |
|----|----|-----|---|----------|
| 投 | 佐宗 | 和也 | ⑦ | （渥美） |
| 捕 | 加藤 | 恭一 | ⑰ | （法人本部） |
| ◎ | 原野 | 健太郎 | ⑭ | （田原） |
| 一 | 井原 | 祐一 | ⑧ | （ひまわりの街） |
| 二 | 浅野 | 晃 | ⑳ | （ひまわりの街） |
| 三 | 太田 | 充 | ④ | （田原） |
| 遊 | 有川 | 忠司 | ⑱ | （田原） |
| 左 | 小栗 | 秀一 | ⑯ | （ひまわり邸） |
| 中 | 木村 | 幸香 | ⑦ | （豊田） |
| 右 | 佐藤 | 光輝 | ⑳ | （ケアきぬうら） |
| 控 | 鵜飼 | 孝義 | ⑭ | （田原） |
| // | 阿部 | 奨 | ⑬ | （みなみ） |
| // | 河野 | 光成 | ① | （みなみ） |
| // | 太田 | 敏康 | ⑩ | （法人本部） |
| // | 原野 | 収右 | ⑳ | （東海） |
| 監督 | 浅野 | 修良 | ⑳ | （ケア武豊） |
- ◎主将、○勤続年数

第6回施設対抗レクリエーション大会開催

9月10日、豊橋創造大学アリーナにて第6回施設対抗レクリエーション大会が開催され、職員とその家族、総勢307名が参加しました。法人内施設を9つのチームに分け、玉入れ、綱引き、女戦(椅子取り)・男戦(騎馬戦)、長縄とび、○×クイズ、サバイバルリレー(パン食い、ドリブルシュート、三輪車競争、南京袋競争、三人四脚)の6種目を競い合いました。どのチームもNo1を目指して一致団結。今回新種目の椅子取りと騎馬戦では予想以上に盛り上がり、応援にも力が入りました。優勝は綱引きとサバイバルリレーを制した渥美福寿園・花の里・あい福の里合同チームでした。他施設職員とも親睦を深めることができ、大人も子供も楽しめた一日となりました。



第14回福祉の絵手紙

第14回福祉の絵手紙作品募集では、527点もの作品をご応募いただき、ありがとうございました。厳正なる審査の結果、各賞が決定し、10月15日のみなみフェスタ式典にて表彰式が行われ、受賞者へ賞状と副賞が贈られました。

今号より受賞作品を表紙にてご紹介させていただきます。今回は最優秀賞の箱崎真理子様作品です。



新入職員第二次研修会



9月8日、各施設の新入職員54名を対象に、ひまわりの街にて新入職員第二次研修会を開催しました。4月に入社して各施設で勤務している同期と半年ぶりに顔を合えました。勤務して半年を振り返っての講義。新入職員研修ではあまり理解できなかった専門的な講義も理解していた姿に、成長が伺えました。

半年経過し、これからは新入職員ではなく一人前の職員として活躍してくれることを期待します。講義終了後には、同期達と懐かしむ姿も見られ、研修、職員間の交流と、充実した1日となりました。

第27回福寿園文化祭開催

養護盲・田原福寿園



初秋を告げる澄んだ風の吹く中、10月1日、第27回福寿園文化祭が行われました。

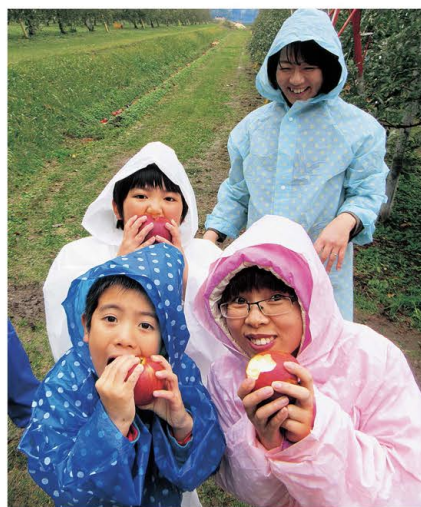
田原市内小学生に募集していた、福寿園をはぐくむ会「未来」主催の第14回「福祉の心」絵手紙の表彰式に始まり、養護盲福寿園の入所者によるクラブの演奏発表や、作品の展示、チャリティーバザーなどもあり、多くの来園者で賑わいました。午後からは、成章高等学校吹奏楽部による演奏、そして、大泉逸郎さんの歌謡ショー。気さくな人柄あふれるステージに観客も盛り上がり、魅力的な歌声が会場全体に響き渡りました。



9月30日、小久保彰仁さん（渥美福寿園生活相談員）と、小久保千秋さん（赤羽根サービス介護職員）の結婚式が行われました。未永くお幸せに!!

宮田村へりんご狩りに行ってきました

10月28日、長野県の宮田村へ、法人がオーナー契約をしているりんごの木の収穫祭に行ってきました。あいにくの天気でしたが、各地区から家族連れで43名が参加。中央アルプス駒ヶ岳のふもとに広がるりんご園で、完熟したりんごの収穫を楽しみました。今年の品種シナノスイートは、



その名のとおり強い甘みとシャキシャキとした食感が特徴で、長野県オリジナル品種「りんご3兄弟」のひとつ。太陽の恵みをいっぱい浴びたもぎたてりんごをかじると、甘みが口いっぱいに広がりました。収穫後は全施設で提供され、皆で美味しくいただきました。

10月1日、特養家族親睦会による清掃活動を行い、施設周りの生け垣の剪定や草取りをしていただきました。15組29名のご家族が参加され、1時間程作業に汗を流し、大変きれいになってくださいました。清掃活動後は恒例のバーベ

キューを行いました。火おこしやおにぎり作りも職員とご家族一緒に行い、その後、美味しく、楽しい食事のひと時を過ごしました。また来年もぜひ行いたいと思います。皆様ありがとうございました。

東海福寿園 家族親睦会清掃活動

天候が不安定な中、19家族・23名と多くのご家族様にご参加いただきました。皆様の協力のおかげで芝生の落ち葉ひとつなく、緑輝く芝生広場となりました。その他にも園内隅々の落ち葉を拾っていただきました。本当にありがとうございました。



みなみ福寿園 草取り奉仕作業

「20周年記念みなみフエスタ」前日の10月14日、家族会の皆さんと一緒に、芝生広場の落ち葉掃きと溝の落ち葉拾い等を行いました。

家族会だより



ボランティアさんいつも ありがとうございます。

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

東海福寿園

フラワーアレンジメント講師 **神野久代**先生
サポートボランティアの皆さん



月に一度、入居者の皆さんにフラワーアレンジメントを教えてくださいます。神野先生手作りの小物や珍しいお花を使った素敵なフラワーアレンジメントに、入居者さんはとても楽しそうにクラブに参加されています。

神野先生やボランティアの皆さんの優しく丁寧なご指導、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

《 神野先生からのメッセージ 》

福寿園さんにお邪魔し10年になります。少しでも皆さんが楽しんでいただけたらと思い始めました。利用者さんが「きれいだね」と喜んだり、嬉しそうなお顔を拝見すると、ああ良かったと思います。これからも新鮮な花で、季節に合った花、色合いに気を配り、少しでも心安らぎ利用者さんが楽しめる花の時間を続けられたらと思います。



連載 外国人 介護福祉士 候補者リレーインタビュー

福寿園では、現在40名のフィリピン人、8名のベトナム人介護福祉士(候補者)が8施設に分かれて働いています。毎月一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
- A 日本に魅力があり、日本で働いてみたかったからです。
- Q 休日は何をしてお過ごししていますか?
- A 家でマンガを読んだり、アニメ観たり、友達と買い物やお出かけをしています。
- Q 日本で働いてみてどうですか?
- A 大変な時がありますが、皆が助けてくれて楽しく働いています。
- Q 好きな日本食、苦手な日本食を教えてください。
- A 好きな食べ物は、寿司と刺身です。嫌いな食べ物は、カレーライスです。
- Q 将来の夢はなんですか?
- A 介護福祉士を取得して日本でずっと働いてみたいです。
- Q 最後に一言お願いします。
- A 頑張れば、できないことはない!!



ダオ ティリエウ
ニックネーム
リエウ
田原福寿園



New ひまわり ギョウリ

入居者・利用者さんの作品
をご紹介します。

作品
レース編み



ケアハウス きぬうら入居者 **志水 幸枝** さん

認知症予防のために、毎日コツコツと編んでいます。



平成29年11月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
■理事長/山田浩三 <http://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。